# 田所氏

天湯津彦命＝安芸津彦命―天湯津彦命五世孫・阿波国造・飽速玉命（あまのゆつひこのみこと／あきつひこのみこと／あはのくにのみやつこ／あきはやたまのみこと）

- 飽速玉命……900頃 佐伯 資隆（手々の佐伯氏の祖先で、文永三・二・二、蒙古襲来の時に出陣したという。）
  - 文永三年一月一日周防国国衙寺預け置く重代の書類を火災で焼失。弘安一一年五月日。終りと言えども、知行に相違なしの旨の訴え裁決の旨に任せ、弘安一一年五月日日付状、賜り、その免状あり。府中町史一九大貫
  - 930頃 佐伯 資遠（佐伯西国国使）
    - 佐伯部三宅村の田所屋敷より国府府中に発足
    - 佐伯部三宅村の田所屋敷より国府府中に発足
    - 955頃 佐伯 資俊（佐伯西国使）
      - 資平（三宅）
  - 980頃～1064 三善 ○槽職（田所総大判官代の誤り）（後平七・二・一相続）
    - 田所総大判官代の誤り
    - 延久四年摂国書井社・厳島宮神殿造か
    - 親俊（後井田氏）
  - （不明）
  - 1091 三善・藤原 兼信（大蔵卿大判官代・寛治五年四月一〇日相続）
    - 田所総大判官代・寛治五年四月一〇日相続
  - 1122 藤原 経兼（田所文書紛行書、田所文部書寄立部書（後安三・二・九相続））
    - 田所総大判官代
    - このころ
  - 1135 藤原・平 兼守（田所総大判官代（後元元・七・五相続））
    - 田所総大判官代の誤り
    - 田所定部書
    - このころ
  - 1155 佐伯 惟兼（大蔵卿大判官代（後寿二・二〇・一四相続））
    - 田所総大判官代の誤り
    - 1156 佐伯・平 則兼（田所総大判官（後元元・三・二〇田所寄生書の行重））
      - 1167 藤原 為兼（田所総大判官代・下総権守（仁安三・二・正田所文書紛・行重））
        - 仁安三年正月・田所文書紛・行重 の誤り
        - 1190 1198 知家
        - 平 兼資（後田所総大判官（後久元・十二・二六田所寄生書））
          - 田所総大判官代
  - 1198 平 資家（田所総判官代大炊（後建久元年相続））
    - 「田所系系」で確認
    - 1227 平 遠兼（田所総判官代左近将監（後貞元・八・一〇相続））
      - 平 高資（田所総判官代兵部卿左衛門尉（後正元元・六・二〇相続））
        - 田所総判官代新左衛門尉の誤り
        - 平 資俊（田所総判官代、兵部卿新左衛門尉（後正応二・二・一五相続））
          - 文永三年相続の誤り
    - 平 兼直（上山氏）
      - 争論あり、周防国国衙寺に預け置く、同所出火にて、代々の書類焼失。「田所系系」による
  - 平 俊兼（大蔵卿兼資後）
    - 建久元年十一月六日相続
- 大夫（河内信濃寺にて死す）
- 郷公（今藤町にて死す）
- 圓勝（河内信濃寺にて）
- 資賢（田所総大判官代、石井左衛門尉（後貞元二相続））
  - 正応二年正月一五日相続の誤り
  - 1289
  - 1303 1335 平 信兼（田所総判官代石井次郎左衛門尉（平）（後貞元、七、一二、田所兼時書紛書、元亨書あり））
    - 田所総判官代石井次郎左衛門尉（平）
    - 1333 良資（石井六郎 藤鎌寺定阿）
    - 末忠（石井七郎（船上山よりの帰宅を嘆き千鶴丸の中務の下に忠綱、後元元、五、二五））
    - 父田所総大判官代新左衛門尉資賢の七男
  - 平 信高（田所総判官代石井新左衛門尉（後貞和元、五、一〇、一、十八新田義貞より要三郎の手書紛より命令を正客宗国村に与え、一〇、一六相続））
    - 厳島神社社務使祭主・田所総判官代兼務
    - 建武二年・一三三五・田所総大判官代厳島神殿新左衛門尉相続
    - 厳島神社古文書紛『宿禰文』一三五、百九四頁の『宿禰文抄』による
- 在俊（田所石井氏兼信（後）、（後貞和元・一〇・一一夏寺建事中状にあり））
  - （不明）
  - （不明）
  - 三宅 1454 成清（田所左衛門尉（後宝徳三年相続））
    - 厳島上卿役定勅使祭主
  - 三宅 1470 重久（田所新左衛門尉（文明二年相続））
    - 厳島上卿役定勅使祭主
  - 三宅 1512 親貞（田所左衛門尉（後天正九年相続））
    - 厳島上卿役定勅使祭主
- 胤近（田所左衛門尉（後永禄二・一〇・一四相続））
  - 三宅 1531
  - 厳島上卿役定勅使祭主
  - 三宅・平 1562 就長（田所左衛門尉（後永禄五年相続））
    - 厳島上卿役定勅使祭主
    - 佐伯 1571 元信（田所兵庫頭守（元亀二年相続））
      - （一代父信か）
    - 1603 元貞（田所左衛門尉（後慶長八・一〇・二））
      - 元貞（左衛門尉元・二相続）
        - 元親（宮内卿介文二・六相続）
      - 俊誉（後八元正任、俗名平吉、平吉、後為吉、後為吉、後為